

大学にはなぜ行くのか？

「あなたはなぜ大学に行くのでしょうか？高校を出てすぐに就職してもいいはずですが。医師や教員などをを目指すなら、大学に行かないとなれないのでわかりますが、なんとなく大学に行く、みんなが行くから行くという人も多いでしょう。そんなあなたに、大学という世界の全体像と、その先にある学問の面白さを知ってほしいのです。なぜなら、高校までの先生と、大学の先生は、全く違うからです。…高校までの先生は、教育者です。誰かが解いてくれた謎をあなたに教えてくれます。『ニュートンがこんな法則を発見しました』『紫式部がこんな本を書きました』これは正解がある問題です。これを覚えて入試を突破すれば大学には入れます。大学の先生は、教育者であると同時に研究者です。正解がない問題に挑んでいます。…そして調べたり研究したりした成果を、論文や本にして世の中に発表し、世界を良くしています。」 <『偏差値45からの大学の選び方』山内太地（ちくまプリマー新書）> 「とりあえず高校を出ただけでは強みがない人はやっぱりちょっとまずい。何がまずいかというと、何者でもないんですね。芸能人やスポーツ選手でもありません。そして他の同級生たちは進学した先の大学とか短大で知識を身につけたり、学校の先生や看護師の資格を取ったり、何者かになっていくんですね。何者かになるというのは、食べていく術をちゃんと持っているということです。自分が何者になれるのかまだわからない。そんな人は大学に入ってからゆっくり考えたらいいんです。…大学の先生から『自分で学ぶ』方法を学んで、その後、自分で自分の人生を切り拓いていけるようにするべきです。大学に行かない理由がちゃんとあるという人、自分が深く納得し、周りも納得する説明がきちんとできる人は芯がしっかりしていますから、もう学校は関係ありません。行かなくてもいい。でもそこまで考えてなくて、何となくと言うんだったら、あなたにはまだ勉強が足りないんです。つまり大学に行って勉強すべきです。」 <同書> ちなみに 2023 年 3 月卒業生は鳥取大学、高知工科大学、関西学院大学、甲南大学、神戸学院大学などに進んだ。教育・看護・保育・福祉などの指定校推薦枠（大学との信頼関係で高校からの推薦があればほぼ合格）もある。

そもそも自分はどうなりたのか

『『そもそもやりたいことがわからない』という悩みです。…高校生の皆さんとお話をしていると、やりたいことがわからない人、とても多いんです。…自分がやりたいことをやるという自分ベースの考え方をやめて、世の中を見渡して困っている人を探すんです。…あなたがその仕事をしたことで誰かを助けられる、救える、それでどんな仕事なんだろうって考えるんですね。それは必ずしも看護師さんとか消防士さんみたいな、はっきりした職業じゃなくてもいいんです。できれば高校生のうちにある程度は探せるのがいいですが、思いつかない人はやっぱりまずは大学に入ってください。」 <同書>

生まれ育った地元以外で暮らしてみるの意味は小さくない。そこには新たなヒト・モノ・コトとの出会いが待っている。大学での研究以外のまとまった自由な時間を何に使うかを考えるのは、大学生の特権だ。旅に出たり、サークル活動に励んでみたり、若気の至りでとてつもないことに挑戦してみたり…。すべてに意味がある。大きく変化していくこれからの時代に、何者かになるために、正解がない問題に取り組んでいく武器を身につけるために、大学に進学することの意味も小さくない。自分への投資だ。

進学費用は、給付（返済不要）の奨学金もある。①日本学生支援機構、②奨学金.net を確認してみよう。道はある。また、③国公立2部（夜間）は、昼間の国公立大学よりさらに安い費用で通え、昼間のアルバイトも可能だ。



①日本学生支援機構



②奨学金.net



③日本の夜間大学一覧

黒田官兵衛の水五訓Ⅳ

水五訓その四「自ら潔（いさぎよ）うして他の汚れを洗い、清濁（せいだく）併せ容るるは水なり」:

川は、脇から濁った水が注がれてきても、そのままそれを受け入れ、何事もなかったかのように一つの大きな流れとなっていく。学校や社会にはさまざまな文化・価値観を持つ人が集まる。文化・価値観の違う人を排除するよりも、それを生かす術を追求することがこれからの社会には重要になる。水の如く。

欠点を探そうとすれば人を見下すことになるし、長所を探ろうとすれば人を尊敬することにつながる。お互いをリスペクトする関係性を築き、価値観が合わない人との距離感を身につけることも大切だ。